

ななくい

藤田保健衛生大学七栗サナトリウム広報委員会編集 発行人 園田 茂
〒514-1295 三重県津市大島町4 2 4 番地の1 電話 059-252-1555 (代表)
ホームページ <http://www.fujita-hu.ac.jp/HOSPITAL4/> F A X 059-252-1383

ボランティアの力

看護部長 武重榮子

病院の機能は医療の提供であることは言うまでもない。
しかし、医療は人が提供し人が受けるものであるから、そこには必ずサービスが付随する。
ホスピタリティは代表的な精神と言える。

去る、平成22年8月6日から藤田アートグループ（三重県在住の水墨画の仲間8人）による作品展が行われた。きっかけは昨年秋に行った患者や職員による作品展にアートグループの一人が出品してくださったことである。彼女は水墨画の仲間に和を広げ病院内で作品展を行えば通院・入院されている患者さんやその家族の方々に元気や喜びを伝えられるのではないかと思いこの度の作品展を企画してくださった。

作品を観てくださった多くの方々に記帳や「心洗われる思いになった」「私も絵を書いてみたいと思った」等、アンケート箱にも多くのメッセージを頂いた。

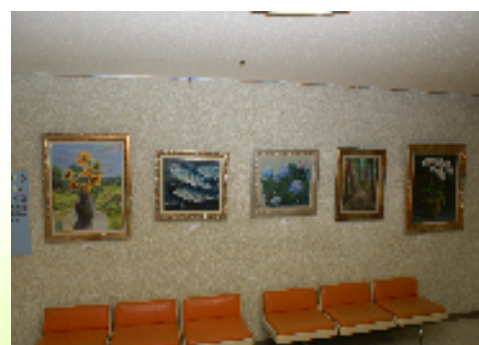
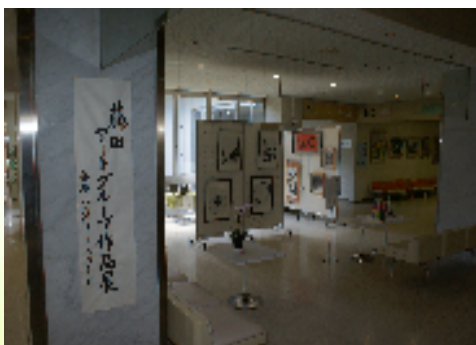
また、ある患者さんは魚の腹を指差し「私

は魚の卸をしていた。この魚はこの線があるから活きている」と語ってくださり、私はとてもうれしく楽しい気分となった。

この作品展はいつまでやっているの？という声も多かった。平成22年9月7日には秋向きの作品に模様替えし新たな空気も醸し出したが、おしまれながら9月30日に撤去日を迎えた。

作品展を行ってくださった有志の方々は、来年も是非出展させてほしいと意欲満々である。このような形で和が広がり、その上ホスピタリティも表現でき、私は感謝の気持ちでいっぱいである。本当にありがとうございました。

追記：11月2日からは、患者さんや職員による「秋の作品展」を今年度も企画しております。多くの方からの出展を心よりお待ちしております。



院内夏祭りを開催して

患者サービス・接遇委員 介護福祉士 方田太志

3年ぶりの院内夏まつり、介護福祉士としてはビッグイベントです。不安だらけの状態準備が始まりました。まずは、よさこいの練習。週3回仕事終わりに集まり1時間行います。日々筋肉痛との戦いでした。みんなの勤務が合わずに練習が進みません。今回の踊り子は優しく、おとなしい子が多く、元気を前面に出すよさこいとは正反対、本番までにいかにモチベーションを上げていくのかが自分の課題、たくさんの同僚、後輩と話し笑

い、汗をかいて練習をしました。本番では120%の力を出し切り踊ることができたと思います。観客の患者さまの中には涙されるかたもみえ、自分たちの色々な気持ちが踊りを通して伝わった気がしました。

多くの方に参加していただき模擬店も盛り上がり楽しい夏まつりになりました。協力して下さった方、参加して下さった方みんなに感謝します。ありがとうございました。



輪投げ
期待以上の商品に歓声
が上がっていました



射的
自分の欲しい品物に
ねらいを定め鉄砲を撃ち
ます



よさこい



風船ヨーヨーつり
孫へのおみやげにと1人で2～3個
釣っている人もいました



アンコールを含め3回踊りきりました
患者様の盛大な拍手と涙で疲れも
吹っ飛びました

脳卒中後の運動麻痺回復訓練の取り組み（1）

リハビリテーション部 宮坂裕之

脳卒中になると損傷を受けた脳の部位や程度により症状は異なりますが、身体の運動障害（運動麻痺）が出現します。運動麻痺は、その後の薬物治療や自然回復によってある程度改善することもあります。脳損傷程度に対する最大限の改善を得るためには、専門的なリハビリを受ける必要があります。

リハビリによる運動麻痺の回復は、脳卒中患者さまにとって日常生活動作の獲得に大きく影響するとともに、生活の質を高めます。七栗サナトリウムリハビリテーション部では、世界の先進的施設で行われ、治療効果があるとされる訓練方法を積極的に導入し、患者さまの病態に合った訓練方法を選択し実施しています。今回は、その中から2つの電気刺激療法を紹介します。

私たちが脳卒中患者さまの訓練で用いる電気刺激は治療的電気刺激と呼ばれ、運動麻痺改善、痛みの緩和、血行改善、筋力低下の予防、筋肉のこわばりを和らげるなどの目的に使用されます。

訓練では、2種類の治療的電気刺激を用い、患者さまの病態に合わせて使い分けています。1つ目の電気刺激は、重度運動麻痺により自分では手足の筋肉を収縮

できない患者さまに用いるもので、電気刺激により筋収縮を生じさせ動きが出現するまで使用するものです。もう1つの電気刺激は、自分で筋肉を収縮させられるものの運動麻痺の影響で力が弱い患者さまに用います。この電気刺激装置は、患者さまの弱い筋収縮を感知し、その収縮の強さに応じて電気刺激によって筋肉の動きを電気の刺激で助けるものです。この訓練法は、麻痺した手足を電気の刺激により助けながら動かすため、意図した運動を強化でき、運動麻痺の改善に効果的であるとされています。

このように、七栗サナトリウムでは、訓練の量増加だけでなく、新しい訓練方法の導入という質改善にも積極的に取り組んでいます。



図：運動をしながら電気刺激療法が行なえる

病院からのお知らせ

外来医師担当表

平成22年10月1日現在

	月	火	水	木	金	土
内 科	松本教授	中野准教授	中野准教授	松本教授	寺澤准教授	※1交代制
外科(外科・緩和医療学)	東口教授	大原講師	天野医師	伊藤准教授	定本医師	※2交代制
外科(上部消化器外科学)	櫻井教授 (PMのみ)	櫻井教授		櫻井教授 (PMのみ)	櫻井教授	
リハビリテーション科	園田教授	岡本医師	岡崎講師	前田医師	※3交代制	水野医師

※1 内 科 土曜日は松本教授・中野准教授・寺澤准教授が交代で診察します。
 ※2 外 科 土曜日は伊藤准教授・大原講師・天野医師が交代で診察します。
 ※3 リハ科 金曜日は第1・3・5週：成田医師、2・4週：田中医師が交代で

緩和ケア病棟に新しいお部屋が2床オープンしました 緩和ケア病棟看護長 菊川栄子

緩和ケア病棟に新しいお部屋が2床オープンし全20床となりました。
 工事期間中は、入院中の患者さま、ご家族さまにご理解を頂きながら進めてまいりましたが、やっと完成いたしました。本当にありがとうございました。
 新しいお部屋からは、緩和ケア病棟の中庭を眺めることができます。
 そして、今回は、トイレの広さにこだわり車椅子

子でも利用可能となっています。
 新しいお部屋に入ることを、心待ちにしていた患者さんは、お部屋に入室と同時に目をパチクリさせて喜んでおられました。
 今後も、入院中の患者さま、ご家族さまに快適な入院生活を送っていただけますようスタッフ一同努力してまいりたいと考えております。
 どうぞ、よろしくお願いいたします。



職員募集のお知らせ

藤田保健衛生大学七栗サナトリウムでは「看護師」を募集しています。

お気軽にお問い合わせください。

詳細・お問い合わせ先は 〒514-1295 三重県津市大鳥町424番地の1

七栗サナトリウム 業務課人事担当 西岡 聡

電話 059-252-1555(代表) FAX 059-252-1383 E-mail: hp-hp4@hp.fujita-hu.ac.jp